

北海道

— 当別町 子どもの読書活動推進計画 —

平成 22(2010)年度～平成 26(2014)年度

ふれあいから学びの輪へ



当別町教育委員会

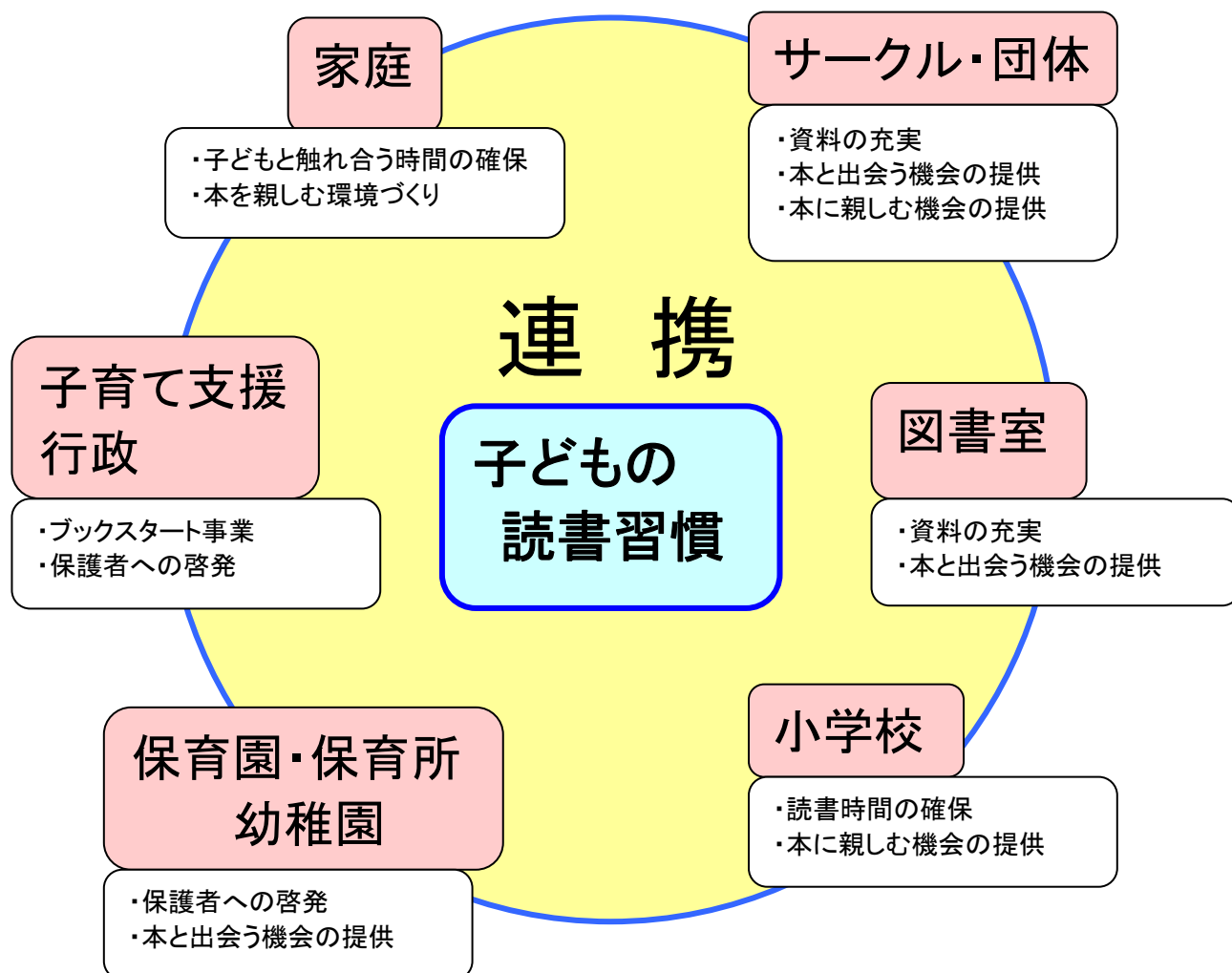


1 当別町の子どもの読書活動推進計画策定にあたっての背景

2001年(平成13年)11月「子どもの読書活動の推進に関する法律」が公布・施行され、翌年、2002年(平成14年)8月には、「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が閣議決定されました。それを受けて、北海道教育委員会は、2003年(平成15年)11月に「北海道子どもの読書活動推進計画」を策定し、北海道のすべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことができるよう環境づくりを進めております。道内の市町村でもその推進に向けて、それぞれの自治体で策定にあたっております。さらに2005年(平成17年)には「文字・活字文化振興法」が制定され、2010年(平成22年)は「国民読書年」になります。

当別町においても昨年、2009年(平成21年)「第3次当別町生涯学習推進計画」が施行され、その中でも「子どもの読書活動」のより一層の充実が必要であると認められました。そこで、当別町でも「すべての子どもがいつでもどこでも、自主的に読書活動ができる環境づくり」を目指して「当別町子ども読書活動推進計画」を策定し、推進していきます。

2 当別町の子どもの読書活動推進のイメージ



3 当別町の子どもの読書活動推進の意義

人は家庭・学校・地域という社会の中で育っていきませんが、子ども時代に出会う読書の経験はそれ以上に人を成長させてくれます。

幼い時に身近な大人の膝上で読んでもらった本の世界は、思い返すと物語と一緒にその大人の声、その時の明かりの温もり、そして匂いまでもが蘇ってきます。字の読めない幼子が決して一人では味わえない3次元の空間を心地よく思い出せるのは、幸せな読書環境に育ったからです。幼子の読書にとって家庭環境が一番であり、身近な大人の支えが一番大切です。

そして、少し大きくなると幼児教育現場(保育園、保育所や幼稚園)やサークルで同い年の子どもと一緒に味わう読書の時間「読み聞かせ」は友達と一緒に笑ったり、喜んだり、冷や冷やしたり、ドキドキしたり、十分に楽しみを共有できる経験を持ちます。それも、一人ではできません。本の楽しさを十分知っている理解ある大人がそこにいるからです。

また入学すると、文字を覚え、自分から読書ができるようになります。そのときに、先生から、友だちの紹介で新しい本との出会いが始まります。独りで未知の世界をまるで羽根が生えたように自由に飛び回りながら、そこでは今まで経験したことのない出来事に遭遇します。それは、ページをめくるごとに、心の高鳴りが聞こえてくるようです。

そんな子ども時代の読書を応援するために、当別町には関係機関(読書サークル、家庭文庫、図書室、保育園、保育所、幼稚園、小学校など)があります。それらが読書環境を大切にしたいと願い、連携して取り組むことが望まれています。

児童図書館員のアイリーン・コルウェル氏は、次のように述べています。

「書物のない家庭は、窓のない家のようなものです。なぜなら、本というものは、それを通して、子どもが、知識と経験のより広い世界をのぞき見ることのできるもっとも重要な手段だからです。」

乳幼児期

生まれてから、人と人の「ふれあい」がスタートし「かかわりあい」へ

現在実施している主な内容

0歳 1歳 2歳 3歳 4歳 5歳 6歳

10カ月児健診

ブックスタート（絵本を手渡し、絵本を通して親子のつながりを深める）

幼児と親のつどい（親子の交流事業）

遊びの広場（絵本の読み聞かせ）

絵本に親しむ講演会（絵本を通して親子の交流）

育児サークル・その他の団体の一覧（平成21年度6月現在）

わんわんきっず	ケンタ	はだかんぼ きっず	おはなしサークル たんぽぽ	3才児にこにこ 教室
2才児にこにこク ラブ	親子サークル ひよこクラブ	親子わらべうた もぐらどん	絵本交流会	当別こども 図書館
萌木の会	ママエク サークル	もーちゅー		

読書活動における主な現況と課題

1 乳幼児期での現在の主な取り組み状況

- 読み聞かせ
- 本の貸し出し(ふとみ保育所、当別幼稚園、ゆとろ)
- おたよりや懇談、参観などの機会を利用した保護者への啓発
- 未就園児とその保護者に対する読み聞かせや啓発

2 乳幼児期での現在の主な課題

- 本の冊数(蔵書)が少ない。足りない。
- 読書に関わる方の研修の場や勉強する機会が少ない。足りない。きっかけがない。
- 図書関係公共施設の利用の充実化



それを受けて、これからの推進すべき方向性は、

<乳幼児期における読書活動の推進>

乳幼児期は、子どもたちにとってはじめて本と‘出会う’時期です。子どもは抱かれたり語りかけられたりすることによって愛情を肌で感じています。

この時期は本の内容そのものを楽しむことよりも、本を通して両親をはじめとする身近な大人たちとふれあい、一緒に時間を過ごすことに意義があります。

(1) 家庭での取り組み

- ・本を通して子どもとふれあい、時間を共有する機会をつくれます。
- ・大人たち自身が読書を楽しみます。

(2) 保育園・保育所・幼稚園での取り組み

- ・子どもたちの発達段階にあった興味や関心の高い本の充実に努めます。
- ・日々の活動に読み聞かせの時間を設け、子どもたちが本に親しむ機会を提供します。
- ・家庭での読書活動を推進するために、図書室などと連携して保護者に対し啓発活動をします。

(3) 子育て支援施策における取り組み

- ・家庭での読書活動を推進するために、図書室などと連携して保護者に対し啓発活動をします。

そのために大切なことは、

- ① 家庭における読書の大切さの啓発
- ② 家庭・地域・行政等の連携による読書環境の充実



さらに発展させていきたいことは、

第3次当別町生涯学習推進計画(P12)より抜粋

◎町内の各子育てサークル等の団体活動の促進

子育てサークルは、一緒に遊べる仲間、空間、時間を子どもに提供することができる。そして、子育て中の親の仲間づくりができ、育児不安の解消につながる。さまざまな親子に接することで、親子の関わり方を学べ、自分の子育てに活かすことができる。そのような、各子育てサークル等の団体活動の促進を目指す。

－ 本にふれあい、本に学び、本で育つ －

本育

以後継続・発展

- ・学習交流センター(児童コーナー室)の活用
- ・西当別コミュニティーセンター(図書室)の活用
- ・当別こども図書館、絵本交流会、ゆとりのキッズコーナー
おはなしサークルたんぽぽ等の育児サークル・団体等の活用

○この時期に、子どもに絵本を読んであげることが、絵本のすばらしさを伝え、本を通して心を育み、親子のふれあいやコミュニケーションを豊かにする。今後も地域の図書施設等を活用し、より一層の子ども読書活動の推進を図る。

○ブックスタート事業(乳幼児健診の会場で絵本や読み聞かせのアドバイス等の冊子を配ること)の推進を図る。

少年期（小学校）

自ら学ぶ力の育成や集団生活への適応と他人への思いやりの喚起を

現在実施している主な内容

7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳
朝読書(朝10分間の読書)					
図書館利用指導(本の貸し借り、マナーの勉強)					
長期休業中の本の貸し出し(夏休み・冬休みの長期間の本の貸し出し)					
読書月間(本の貸し出しの啓発)					

<参考> 町内の小学校における主な特色ある教育活動

第3次当別町生涯学習推進計画(P13)より抜粋

- 国際理解教育の推進
- 書道教育の推進
- うるおいのある環境づくり
- 基礎・基本を大切に確かな学力を身につける学習指導
- 異学年交流をメインにした縦割り班活動
- 活発に行われる読書活動
- 地域の人材を活用したときめきバンク
- 生きる力を育む総合的な学習の時間
- 生徒指導を柱にした小中連携事業
- 「ときめき学習」(地域の自然環境や地域の人材を活かした授業、体験的な学習活動)の推進
- 「全校宿泊学習」の効率的な実施
- 「全校登山遠足」の実施
- 「着衣水泳」「不審者対策」の実施と指導の充実、地域との連携の推進
- 「全校スキー学習」の実施
- 「全校朝読書」「漢字の王様」の実施
- 他校との「ふれあい学習」や旅行的・見学行事の推進
- 「緑の少年団活動」などのボランティア活動の推進
- 「小中合同運動会」の推進

読書活動における主な現況と課題

1 小学校での現在の主な取り組み状況

- 朝読書
- 教員、保護者による読み聞かせ
- 教員によるお薦めの本の紹介
- サークルや団体関係による読み聞かせ
- 図書委員による活動(読み聞かせ、お薦めの本の紹介、機関紙等の作成)

2 小学校での現在の主な課題

- 先生方の多忙化により、読書に関われる時間が少ない。
- 図書に関わる予算が少ない。
- 古い蔵書の整理、廃棄の問題

それを受けて、これからの推進すべき方向性は、

<少年期における読書活動の推進>

就学期になると文字を習得し、子どもたち自身の力で読書をすすめるようになります。子どもは、本を読み知識を得たり様子を想像したりして、情緒豊かに育っていきます。この時期にたくさんの本と出会い読書の楽しさを知ることにより、生涯にわたる読書習慣が身につきます。

(1) 家庭での取り組み

- ・いつでも身近に本を手にとれる環境をつくれます。
- ・子どもの自主的な読書を促すとともに、読み聞かせをしたり自分自身が読んだ本を薦めたりして子どもに寄り添い、大人たち自身も読書を楽しみます。

(2) 小学校での取り組み

- ① 本と出会う機会の提供
 - ・先生方による本の紹介などや、さまざまな本と出会う機会をつくれます。
- ② 図書資料の充実
 - ・学校図書室や各教室に子どもたちの発達段階にあった興味や関心の高い本をそろえ、いつでも身近に本を手にとれる環境をつくれます。
 - ・読み物としての本だけでなく、子どもたちの知的好奇心を満たすような本、教科学習や総合的な学習を補完できるような本の充実に努めます。
- ③ 読書の時間の確保
 - ・朝の一斉読書や読み聞かせの時間を定期的に設け、子どもたちが集中して読書に向かえる時間と環境をつくれます。

- ④ 学習における図書資料の積極的利用
 - ・学習を深めるため本を使った学習活動を推進するとともに、子どもたちに本の多様な利用法を教えます。
- ⑤ 保護者への啓発
 - ・家庭での読書活動を推進するために、図書室などと連携して保護者に対し啓発活動を行います。

そのために大切なことは、

- ① 自主的な読書習慣の確立と読書指導の充実
- ② 学校図書室の整備・充実

さらに発展させていきたいことは、

第3次当別町生涯学習推進計画(P16)より抜粋

— 学ぶことの楽しさを知り、意欲的に学び、学びの中で育つ —

学習育 1

以後継続・発展

- ・家庭学習の定着
- ・読書活動の習慣化
- ・食育の推進
- ・個に応じた指導体制の充実
- ・「早寝早起き朝ごはん」運動など基本的な生活習慣の定着

各期にまたがる取り組み

1 図書室(ふくろう図書館・西当別コミセン図書室)での現在の取り組み状況

- (1) おはなし会の実施
- (2) 小学校へ巡回図書の貸し出し
- (3) お楽しみ会開催
- (4) 新着図書の紹介
- (5) 読書週間の開催(こども読書週間・秋の読書週間)
- (6) 小学校へ団体貸し出し

2 図書室における読書活動の推進

- (1) 本と出会う機会の提供
 - ・子どもたちにお話の楽しさを伝え読書のきっかけづくりに努めます。
 - ・おはなし会等をいっそう推進します。
- (2) 乳幼児と保護者に親しまれる図書室づくり
 - ・学習交流センターの和室を育児サークル等に開放
- (3) 児童図書コーナーの充実
 - ・図書を探しやすい配列を工夫し、多様な資料や情報を提供できるよう児童コーナーの充実を推進します。
- (4) 子どもの読書活動に関する理解と関心の啓発
 - ・ブックスタートで乳幼児の読み聞かせの大切さを啓発します。
 - ・読み聞かせボランティアなどと連携協力していきます。
- (5) 保育園・保育所・幼稚園へ巡回図書の貸し出し
- (6) 本を活用した活動をするための支援
 - ・子どもたちが本を読んで調べ、活用し実践する力を養うための支援をします。
- (7) 事業等の広報の活発化

そのために大切なことは、

○ 図書室の整備・充実

当別町子どもの読書活動推進計画＜参考＞評価シート

設問項目 当別町子どもの読書活動推進計画 (さらに発展させていきたいこと) 今後変更もあり		現状評価・今後の重要度					現状の満足度					今後の重要度				
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	特に重要	重要	あまり重要でない	重要でない	わからない					
平成 22 年度	＜乳幼児期(保育園・保育所・幼稚園など)＞ ① 家庭における読書の大切さの啓発 ② 家庭・地域・行政等の連携による読書環境の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1					
	＜少年期(小学校)＞ ① 自主的な読書習慣の確立と読書指導の充実 ② 学校図書室の整備・充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1					
	＜各期にまたがる公共施設＞図書室の整備・充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1					
平成 23 年度	＜乳幼児期(保育園・保育所・幼稚園など)＞ ① 家庭における読書の大切さの啓発 ② 家庭・地域・行政等の連携による読書環境の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1					
	＜少年期(小学校)＞ ① 自主的な読書習慣の確立と読書指導の充実 ② 学校図書室の整備・充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1					
	＜各期にまたがる公共施設＞図書室の整備・充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1					
平成 24 年度	＜乳幼児期(保育園・保育所・幼稚園など)＞ ① 家庭における読書の大切さの啓発 ② 家庭・地域・行政等の連携による読書環境の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1					
	＜少年期(小学校)＞ ① 自主的な読書習慣の確立と読書指導の充実 ② 学校図書室の整備・充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1					
	＜各期にまたがる公共施設＞図書室の整備・充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1					
平成 25 年度	＜乳幼児期(保育園・保育所・幼稚園など)＞ ① 家庭における読書の大切さの啓発 ② 家庭・地域・行政等の連携による読書環境の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1					
	＜少年期(小学校)＞ ① 自主的な読書習慣の確立と読書指導の充実 ② 学校図書室の整備・充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1					
	＜各期にまたがる公共施設＞図書室の整備・充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1					
平成 26 年度	＜乳幼児期(保育園・保育所・幼稚園など)＞ ① 家庭における読書の大切さの啓発 ② 家庭・地域・行政等の連携による読書環境の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1					
	＜少年期(小学校)＞ ① 自主的な読書習慣の確立と読書指導の充実 ② 学校図書室の整備・充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1					
	＜各期にまたがる公共施設＞図書室の整備・充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1					
合 計																

—当別町子どもの読書活動推進計画—

発行日 平成22年3月31日
編集 当別町教育委員会
発行 当別町教育委員会
TEL 0133-23-2689



当別町(教育委員会)ホームページ掲載

<http://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/sogo/keikaku/kyouiku/index.html>